

マイセルフ

自分らしく

特集

令和時代の子育てとは ～『おばちゃんち』のまちづくり～

パンフレットも
いろいろ

いろいろな事業を
やっています♪

取材後編集委員とともに



おばちゃんちの事業～ふれあい広場～



私たちが見つけた品川区の

Vol. 18 子供の森公園

ちよつといい所
素敵なおところ♪



がいじゅう公園の愛称で親しまれる子供の森公園。中に入ると9体の様々な恐竜のモニュメントが私たちを迎えてくれます。遊具や砂場もあり、子どもが思いっきり体を動かせる公園です。休みの日はぜひかわいい怪獣たちに会いに行ってみてください。

2020 春号



- 令和時代の子育てとは
- 男女共同参画センターからのお知らせ

2～5P

6～8P

VOL. 61

特集

令和時代の 子育てとは



～『おばちゃんち』のまちづくり～



NPPO法人ふれあいの家『おばちゃんち』代表理事の幾島博子さんにお話を伺いました。

二〇〇二年に発足したNPPO法人『おばちゃんち』の二代目代表を引き受けられた理由を教えてください。

仲間がいて背中を押してくれたからです。初代の代表である渡辺さんとは、20年近く前、小さな勉強会で知り合いました。そこで意気投合して、今の『おばちゃんち』の原型のようなイメージを持つていたことを話してくれたんです。私は児童センターで品川区の職員として働いていましたが、公

務員ではできないこともあり、限界を感じていたので『おばちゃんち』の立ち上げに参画しました。渡辺さんが亡くなった後、私に渡辺さんの後を継げるのか不安でしたが、周りのサポートもあり、私なりに『おばちゃんち』を発展させていこうと思えました。もちろん、渡辺さんが大切にしてきた本質の部分は変わっていません。しかし、時代とともに乳幼児のお母さんたちの求めているものも少しずつ変わってきているので、それに応じて事業を変えたり、活動を増やしたりしています。

子育て交流ルーム『おばちゃんち』をどのようなときに活用している方がいますか。

一時預かりの事業で『おばちゃんち』に来る子どもの年齢は、まだお父さんやお母さんがついていないといけない小さい子どもです。保育園・幼稚園入園前や、普段は保育園や幼稚園に通っていて土曜日だけ来るお父さんや、長期休みに『おばちゃんち』に来るといってお父さんもいます。また、家事を終わらせたいときなどに預けて、土曜日と日曜日は親子でゆっくり過ごすという方もいます。平日フルタイムで働いているお母さんやお父さんたちは、週末に溜まった家事をやりたいときや、息抜き時間が欲しいときに利用されたりします。

また、児童相談所に行くほどの特別な相談や手立てが必要ではないけれど、周りに誰も頼れる人がいないときに『おばちゃんち』を頼ってほしいです。昔は少し助けが欲しいときに隣のおばちゃんがいよいよ預かってくれたように、近所の『おばちゃんち』という感覚で気軽に利用してほしいです。

現代の子育てにおける問題はなんですか。

子育ての方法がお金で買えるようになってきたでしょうか。お金をかけることは悪いことではありませんが格差も生み出すし、サービスを買うという方法で本当に我が子に大切なことを親が用意できるのかどうか、疑問です。それから私に気になるのは習い事です。もちろん、習い事をするのも自体は悪いことではありません。しかし、最近はお母さん、お父さんたちが焦ってしまったり、煽られすぎてしまっていると思います。お金をかけて、我が子になにか提供することが一生懸命子育てしているような考え方になってきてしまっていますよね。子ども時代は何かを早くできるようになるよりも、非認知能力や自己肯定感を高めることが大切だと私は考えています。ピアノが弾けるようになること、英語が話せるようになることはよいことですが、その子の心がしっかり育っていないと、これから生活



《活動理念》

大人も子どもともに学び合い、育ちあっていくという、「子どもと大人のパートナーシップ」を原点に、誰もが心地よいと感じる環境の中で、人とのふれあいが豊かに繰り広げられています。赤ちゃんから高齢者まで、すべての人が本来の生きる力を取り戻し、輝き始める、そんな場づくりを目指して、活動を行っています。

《活動目標》

1. 世代を超えて、誰もが気軽に集える場所であり、子育て・子育ての社会化の基盤を強化する核となるそんな居場所として活動します。
2. 子育て・子育て支援活動により多くの地域ボランティアが精神的にかかわることのできるシステムの構築など、「共に育つ、子育て・子育ての場」づくりを推進します。
3. 同じような居場所づくりを支援し、推進するセンターとして活動します。
4. 新しい時代が求める「家族」や「地域コミュニティー」のあり方を探り、21世紀型支え合いの子育てを提案します。

子育てサポーター養成講座 全10回

6月11日～9月24日
申込受付4月上旬より
詳細は、おばちゃんちHP
をごらん下さい
<http://obachanchi.org>

していく中で起こる様々な出来事に耐えられるのか心配になったりします。子どもたちには「できてできなくても、あなたはあなたでいい」ということを伝えたいです。また、個人やプライバシーが尊重される一方で、子育てが家族や家庭の中だけで完結しなければいけない時代になっていることは問題だと思えます。

また、大人が忙しすぎる事は虐待などの問題も引き起こす要因の一つと考えられます。児童虐待は必ずしも親だけの責任ではなく、社会全体の責任であると私は考えています。どんなに世の中が効率を求めて競争が激化しても、子どもは守られなければならない存在だと思えます。子どもには、もつとゆつくりとした時間が必要です。これだけ進化した現代社会のペースに赤ちゃんや子どもたちが合わせてしまつたら、とてもストレスになると思えます。

また、最近はずいぶん子どもの身近なところで危

険が取り除かれすぎていようような気がします。オール電化では火に触れることもなく、公園のブランコも子どもが絶対に落ちないようになっているたりします。子どもの周りから危険を排除しすぎて、どうすると危険な思いをするのかということ子どもが自分で体験して学ばなくなっています。『おばちゃんち』で運営している二ヶ所の冒険ひろばには、ハンモックや座るところしかないブランコなどがあります。また、たき火をするときは、子ども自身がマッチで火をつけるのを見守っています。

私たち若い世代が子育てされている方のためにできることはありますか。

①想像力を持つこと②子どもと接すること③子どもについて知ることですね。たとえば、電車の中で子どもが泣いている場面で、「本当にうるさい」「あの親ムカ

つく」とその時は思ったとしても、自分が親になって初めて子どもを泣き止ませる大変さがわかったという話をよく聞きます。自分には子どもがいらないからわからないではなく、ぜひ想像力を働かせてみてほしいです。

また、若い世代の人は、身近に子育てと接する機会が少なくなっているので、小さな子どもに対する気持ちが極端だったりします。静かな時はかわいけれど、言うことを聞かないときは迷惑という感じで。だから、もつと身近に接する機会を持つてほしいと思います。ボランティア、親戚、近所どこでもいいので、子育てに触れてみてほしいです。

冒険ひろばで親や子どもの変化を感じたことはありますか。

お母さんたちの表情やしつけに対する捉



保育のようす

え方が変わりますね。初めは、外遊びの場で迷惑かけないようにしたり、危ないことはさせないようにしたり、すごく過敏なんです。たとえば、ほかの子が遊んでいるものを使いたいときに「貸して、って言いなさい」とか、子どもが貸す立場になったときに「貸してって言われたら、いいよ、でしょ」と言っていたお母さんも時間が経つにつれて、「ごめんなさい、うちの子が取っちゃって」とか、「また一人で取り合っているわね」というように寛容になります。そんなに過度に反応しなくていいという考え方に変わりますね。

私たちスタッフや長年来ているお母さんが、「今はこれでも大丈夫」「うちも昔はこうだったよ」と声をかけることで、子どもを見ているお母さんも楽になるんだと思います。もちろん、子どもも年齢が上がるにつれて、様々なことがわかるようになります。例えば、自分が使っていたおもちゃを他の子に貸してと言われたとき、親が子にすぐに貸さないことを怒ったり、無理やり貸してしまったりせずに、遠くから見ている後で「あの子も使いたがっていたよ」と軽く言うだけで、やがて子どもは、そのことがわかるようになります。素直に「どうぞ」と渡す子ばかりではないけれど、自らの意志で自分の使っていたものを他の子どもにゆずれるようになっていたりするのです。



子育てメッセ2019

『おばちゃんち』で喜びを感じるときはどんなときですか。

一番はやはり子どもたちの笑顔です。それとお母さん達の緊張の糸がほぐれたときです。笑うときもあれば泣くこともありまして、本音を怒りのようにぶちまけることもありますが、お母さんたちの本音の感情と出会ったときはすごく嬉しいのです。

よく、子どもの成長が嬉しいというのを聞きますが、私は子どもがそのときそのときを幸せに過ごしてくれればいいと思えますね。なにかに熱中したり夢中になっ

て、その瞬間いい顔になっているのを見ると、こういう居場所を作れてよかったと思います。

マイルドを読んでいる方にひとことお願いします。

街で赤ちゃんや小さい子どもを見たとき、自分にも同じ時期があったことを思い出してください。自分も泣いたり、うるさくしていた時期があったことを思い出して、ほんの少しでもいいので寛容になってほしいです。

お父さんお母さんたちにも、ふさわしくない場で子どもが泣いたら、その場から離れることやうるさくしたら注意するということは必要です。電車で赤ちゃんが泣くこと舌打ちしたり睨んだりする人が時々いますが、でもそういう反応をするのはほんの1割にも満たない人です。残りの9割以上の人は、赤ちゃんやお父さんお母さんのことを心配し、いい意味で気にしています。でも、実際に目立ってしまうのはその1割以下の人です。なぜかと言うと、9割以上の人は聞こえないふり、見ないふりをしがちだからです。その結果、睨む人ばかりが目立って、お父さんお母さんに「大丈夫だよ」という言葉は届きません。また、子どもが泣きわめいて親でも手が付けられなくなっているときに、第三者が入ると泣き止むこ

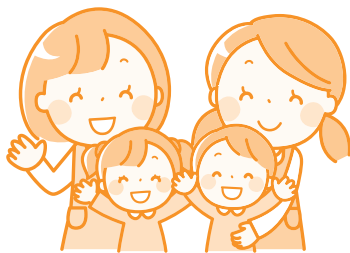


とも多いんです。だから、お父さんお母さんに対してのちょっとした声掛けはもちろん、困っているときに赤ちゃんをあやしたり話しかけてみるということも、ぜひ行ってほしいですね。

最近は犯罪などのこともあり、親も敏感になっています。そのため、子どもを持たない世代の人は特に話しかけにくいと思うかもしれませんが、しかし、子どもとの関わりがない世代だからこそ、子どもや親と積

極的に触れ合うことで、お互いに不安を払拭できるようになっていくのだと私は思います。

また最近では、児童虐待やいじめの事件が多くニュースに取り上げられていますよね。虐待やいじめはなくなればならないことですし、大人なら罪は償わなければいけません。しかし、その人たちだけを世間がバッシングするのは違うと私は思っています。虐待リスクを抱えているといわれる親や、いじめという形でしか気持ちを表現できない子どもに寄り添い、どのように救うかということを考えている必要があると思います。私たちの行動が、虐待やいじめ防止につながるはずですが、誰もが大事にされて、居場所があって、学校でもその子らしくいられる場所があればいいなんて起きないはずですが、いじめや虐待をしてしまった人々をただ罰するのではなく、彼らもまた大切な存在であると思える世の中をみんなで作っていったら嬉しいですね。



『おばちゃんち』で実際に働いている職員の方と子どもと共に利用しているお母さんのお話も伺いました。

利用者の声

『おばちゃんち』はきゅりあんのポスターやママ友からの誘いで知りました。基本的に毎週利用しています。他の子どももいるので、これから幼稚園などに通うための場所慣れや、『おばちゃんち』には家におもちゃもたくさんあるので遊びに来ています。一人遊びをしても環境的には一人ではないので、家で一人で遊ばせるよりいいですね。ここに来ると子どもたちだけではなく、親同士のコミュニケーションもとれるので嬉しいです。様々な年齢の子どものお母さんが来ているので、情報の共有や何か困ったときにアドバイスがもらえてとても助かります。

職員の声

『おばちゃんち』は以前の職場で紹介されました。ここでの仕事はとても楽しく、やりがいがあります。ここが休みの日は私がさみしくなってしまうほどです。新しい命との出会いや様々な子どもとの出会いが私の楽しみにもなっています。私は代表が初代の渡辺さんだった頃から『おばちゃんち』の職員として働いていますが、昔と比べると親の環境が大きく変化していますよね。その分、市町村単位での行政の働きも大きくなってきているように感じます。

編集後記

現代社会の事情が反映される子育て。その形は時代によって変わっていきますが、子育ての悩みを打ち明けられる場所は親にとっても子どもにとっても必要なものだと知りました。子育てしやすい社会が実現するには、子どもを社会全体で育てていくことの理解が大切であり、これからもっと広めていくべきだと感じました。

私自身、高校生の時に保育の勉強をしていたこともあり、子どもについてはある程度分かっているつもりでした。ですが、お話を聞き、子どもを取り巻く環境は刻一刻と変化していることを実感しました。何でも禁止してしまいがちな今だからこそ、子どもの可能性を広げるサポートができるよう心がけていきたいと思いました。

変化し続ける現代だからこそ、子育てにおいても良くも悪くも新しい風が吹くものだと感じました。将来私が子供を持った際、理解のある温かい環境であってほしいです。親と子供という決められた間だけでなく、社会全体で子育てを支えていけるような時代にはないです。

現代は昔と比べて家族や地域の人々と身近にふれあえる機会が少なくなっている中で、改めて人と人の繋がり大切さを知り、学びあえる環境の必要性を感じました。みなにとって居心地が良い『おばちゃんち』は本当に温かく素敵な場所であると思いました。

全ての人が気持ちよく生活するためには相手の立場に立つことが大切だと思います。子どもを持つ親や子どもへの気持ちをもっと考えてあげられる社会にしていこう努力をしなければいけません。子どもがいなくても関係ないのではなく、私も当事者意識を持って子どもについて積極的に理解しようと思いました。

簡単なようで難しい誰でもが訪れることができる場所。子供たちだけではなく、その親だったり、高齢者の方だったりができるような場所づくりをするのに、ここに来るまでに大変な努力があったのだと、話を聞

いて思いました。「おばちゃんち」のような場所が増える社会になればいいなと思いました。(瀧崎キラ)最近では育休を推奨するなどポジティブな動きがありますが、実際のところ世間の子育てに関する姿勢はまだ冷たいように感じます。子育てが身近になり協力的な社会になるためには、子育てに関する政策にもっと重点を置くべきだと思います。また私たちが自身も子育てに触れる機会を多く持ち、理解を深めたいと思います。

誰かが辛い思いをしてしまう環境は、気づいた誰かが救ってあげなかった事が大きな要因だと改めて感じました。悪い事をしてしまつ子を完全に悪と決めつけるのではなく、もっと寄り添ってあげて根本的な解決策を一緒に考える事が私たちにもできる小さな手助けだと思っています。

実際に子どもたちの遊ぶ場所をみて、自由に遊べる場所が育ち盛りの子供達にどれだけ大切なかを知ることが出来ました。そして、家族の中だけでの子育てではなく、地域の人たちのサポートは子供の健やかな成長の上で大変な物だということを感じました。私たちの世代にもできる、子育て世代への些細なサポート・見守りをこれからも続けていきたいと思いました。



編集委員

モデルになれると
誘われたのに…

高収入のアルバイト
に応募したら



誰にも言えずに悩んでいるかもしれません。周りの人が関心を寄せることで防げる被害があります。

4月はAV出演強要・「JKビジネス」等 被害防止月間です!!

AV（アダルトビデオ）出演強要・JK（女子高生）ビジネス問題・デートレイブ問題といわれる若い女性が被害を受ける深刻な問題が発生しています。

AV出演 強要とは



「アイドル・モデルにならないか」と誘い、性的な行為の写真や動画を撮られるケースがあります。

JKビジネス問題とは

JKリフレ

JK散歩

JKカフェ

など

おしゃべりするだけ！時給もいい！そんなバイト募集広告が実際には性的な行為を含むバイトだったりします。

デート レイブドラッグ問題



飲み物に睡眠薬を入れられ、性暴力の被害にあう。そんな被害が増えています。

大事になっちゃうかも?! それよりあなたが大切です。
プライバシーも守られます。

もう 悩まないで。まずは相談!

詳しくは『男女局 AVJK』で検索!
内閣府HPでは、事例や相談窓口など紹介しています。

被害にあわないために

安易に
個人情報
を
教えない

冷静に
考えて
その場で
契約しない

少しでも嫌なら
迷わず
断りましょう。

未成年者の場合は、保護者の同意のない契約は原則として取り消すことができ、違約金を支払う義務はありません。

家族や周囲との日ごろからのコミュニケーションと共に、自分自身を守るために正しい知識を得ることが大切です。

講座報告

■ 多様性尊重講座と講演会 (7月16日・23日・27日 参加者延160名)

『普通ってなに? ~違うことを認め合う~』

講座: 『性のふつうってなんだろう』 16・23日

講座講師 中島 潤氏 (NPO法人職員)

「性のふつうってなに? LGBTを知っていますか?」をテーマに中島さん自身の体験談などを通し、ワークシートを用いながら学びました。

参加者の方からは、「自分が誤解や偏見に直面したらどうするか、“ふつう”という言葉に立ち止まって考えました。」などの感想をいただきました。



講演会: 『自分らしく生きる』 27日

講演会講師 勝間 和代氏 (経済評論家)

人はみな一人ひとり違います。自分とは違う様々な生き方があり、それを認め合う大切さをテーマに講演を行いました。

参加された方からは「私たちの普通は私たち自身が作り出しているものであり、様々な偏見の中で生きていることに気づかされました。」「これからは、人も働き方も多様になり、今までの凝り固まってきた意識を私たち自身で改革していかなければならないことを学びました。」などと感想をいただきました。



■ デートDV講座 (7月4日 参加者 9名)

『危険なSNS~ネットトラブルから自分と家族を守る~』

講師 安川 雅史氏 (全国ICTカウンセラー協会代表理事)

子どもを取り巻くインターネット環境について、いじめやリベンジポルノなどいろいろなトラブルに巻き込まれないために、どんなことがあるのかを学びました。参加者からは、「インターネット上に出回ってしまった情報の消すことの困難さと危険さを様々な実体験を踏まえて、教えていただきました。また、改めて個人情報の管理の重要性を実感しました。」という感想をいただきました。



■ **男女共同参画推進講座** (9月30日 参加者 21名)

『**アンガーマネジメント講座～怒りのコントロール術～**』

講師 **江野本 由香氏** (日本アンガーマネジメント協会公認ファシリテーター・国家資格キャリアコンサルタント)

アンガーマネジメントとは、怒りをコントロールして適切に対処するためのスキルです。今回の講座では、3つの対処法①衝動のコントロール②思考のコントロール③行動のコントロールについて講義を受けました。参加者同士でワークを用い、過去の自分の怒りについて振り返りました。自分の怒りは何型なのか、その原因や怒りの沈め方などを学び、「怒る必要のあることは上手に相手へ伝え、怒る必要のないことは怒らなくてすむように怒りの境界線に対する努力が必要なこと学びました。」などの感想をいただきました。



■ **デートDV講座** (9月25日 参加者6名)

『**誰もが知っておきたいデートDV～互いに尊重し合う関係へ**』

講師 **野本 美保氏** (NPO法人 女性ネットSaya-Saya)

デートDVとは、恋人間の暴力のことです。

大切な家族や友だちが、デートDVの被害者、加害者にならないためにはどうしたらよいのか身近にある事例を参考にしながら学びました。

また、付き合う上で、男女とも気持ちよくいられる関係を築くことの出来る会話、反応などを学びました。



■ **男女共同参画推進講座** (10月23日・30日 全2回 参加者延25名)

『**「オセロ」と現代～差別・偏見・愛を考える**』

講師 **門野 泉氏** (清泉女子大学名誉教授)

1日目:「オセロ」って、どんな劇? 2日目:「オセロ」は、悲劇か?

「シェイクスピアは人間の心の深部を描いていると言われますが、時代背景を含めた当時の社会状況や考え方の説明があり、その意味がよくわかりました。」「人種・男女・嫉妬など時代を超越したテーマの悲劇を当時は青天上の劇場で観劇した民衆のショックはとても大きいものだったろうと思います。」など感想をいただきました。



📢 **講座のお知らせ** 📢

会場 品川区立総合区民会館さゆりあん (品川区東大井5-18-1)

問合せ先 男女共同参画センター 電話 5479-4104 FAX 5479-4111

定員 25名 託児あり (定員に達している場合もありますのでご了承ください。)

※以下の内容は原稿作成時のものです。最新の情報は広報しながわおよび品川区HPでご確認ください。 ※日時が変更される場合があります。

開催日	内容
9月 18:30~20:30	男女共同参画推進講座 「～性の多様性について学んでみませんか～」 自分らしくあるために他者の“らしく”も認め合うことが必要です。 この機会に今、いろいろなところで使われているLGBTなど多様性について学んでみませんか。
7月・10月 18:30~20:30	DVまたはデートDV講座 パートナー間やネット利用による、DV・デートDV・ストーカー行為といわれる暴力等について考えます。
9月 18:30~20:30	アンガーマネジメント講座 家庭・職場などでの人間関係に活かせ、怒りのコントロール術を学びます。
10月 (2日間)	文学と男女共同参画講座 シェイクスピア文学と男女共同参画について考える講座です。

夫など、パートナーからの暴力に悩んでいませんか?

暴力は犯罪です。ひとりで悩まず、ご相談ください。

東京都の配偶者暴力相談支援センターなどもご紹介いたします。詳しいことは品川区男女共同参画センターへ Tel. 5479-4104

★男女共同参画センターDV専門相談……………毎月第1・3・4・5 ☎ 13:00~16:00

……………毎月第2 ☎ 17:30~20:30 ※事前予約による面接または電話相談。

☆しながわ見守りホットライン※24時間つながります。

(DV) Tel. 3777-6601 (児童虐待) Tel. 3772-6622 (高齢者虐待) Tel. 3772-6699 (障害者虐待) Tel. 3772-6605

☆国 (内閣府男女共同参画局) の相談窓口「DV相談ナビ」……………Tel. 0570-0-55210 (お近くの相談窓口を自動音声によりご案内)

🚨 **緊急のときは (身の危険を感じたら) ……☎警察 110番 (事件発生時)**

気づいて!アンコンシャス・バイアス

～ちょっと待ってそれは先入観ではありませんか?～

開催日 令和元年11月9日(土) 場所 品川区立総合区民会館さゆりあん小ホール
参加者 187名

講演講師 **ダニエル・カール氏** (山形弁研究者・タレント)

区民一人ひとりが互いに人権を尊重しつつ責任を分かち合い、能力と個性を發揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、毎年、公募の区民委員さんの企画・運営のもと開催しています。今年はタレントで山形弁研究者のダニエル・カールさんが「気づいて!アンコンシャス・バイアス～ちょっと待って!それは先入観ではありませんか?」をテーマに日本に長く住んでおられるダニエルさんだからこそ感じられる文化的・社会的な偏見や思い込みについてご講演いただきました。カールさんのユーモアたっぷりの山形弁に会場は温かい雰囲気にも包まれ、参加者はときには笑い、ときには真剣に聞き入っていました。



参加者の感想

- 日本人としては当たり前と思う食文化、生活習慣、言葉(会話)。しかし、外国の方にとっては不思議と思ったことが多いということをご自身の経験を通し、わかりやすく、楽しく聞かせていただきました。
- 普段当たり前だと思っていたことを、改めて別の視点から見ると、見え方が変わると思いました。
- 外国人とのコミュニケーションの取り方を考えるきっかけになった。より分かりやすい表現を心掛けたい。

男女共同参画センターからのお知らせ

女性相談員による相談室

人間関係、家族の問題、
配偶者や恋人などからの暴力(DV)や
心や生き方、セクシュアリティなどの悩みごと、
また離婚、相続等、法律に関することなど
お気軽にご相談ください
(性別問わずどなたでもご利用ください)

電話相談

※原則、品川区在住の方が対象です

カウンセラーによる電話相談

毎月第1・2・5木曜日 午前10時～午後3時30分

毎月第3木曜日 午前10時～午後7時30分

*ただし、木曜日が祝日の場合はお休みや日時変更となります

専用電話 5479-4105

面接
相談

無料。事前予約が必要です。予約電話 5479-4104

※予約受付時間 平日午前9時～午後5時

	相談時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月
法律相談	午後1時～3時30分	8日(水)	13日(水)	3日(水)	1日(水)	5日(水)	2日(水)
	午後1時～3時30分	14日(火)	19日(火)	9日(火)	14日(火)	11日(火)	8日(火)
	午後5時30分～8時	20日(月)	25日(月)	15日(月)	20日(月)	17日(月)	28日(月)
カウンセリング相談	午後1時～4時	23日(木)	28日(木)	25日(木)	30日(木)	27日(木)	24日(木)
DV相談	午後1時～4時	3・17・24日(金)	1・15・22日(金)	5・19・26日(金)	3・17・31日(金)	7・21・28日(金)	4・18・25日(金)
	午後5時30分～8時30分	10日(金)	8日(金)	12日(金)	10日(金)	14日(金)	11日(金)

※法律相談は、弁護士に法律に関することを
カウンセリングはカウンセラーにこころと生き方の悩み事を
DV相談は、専門相談員にDVに関することを相談できます。
男性のDV相談は、事前予約の上で電話相談となります。

☆交流室や会議室を、男女共同参画社会の推進を目的とする活動や学習のために、ご利用ください。交流室には資料コーナーが併設されています。

◇交流室 18席(最大): 個人やグループの活動の場としてご利用ください。

◇会議室 36席(最大): 利用する場合は、あらかじめ団体登録が必要です。詳しくは男女共同参画センターにお問い合わせください。

特集記事にご意見・ご感想をお寄せください。お待ちしております。

○次号「マイセルフ 自分らしく」62号は令和2年10月発行予定です

マイセルフ-自分らしく-VOL.61(「しながわの女性」から通算すると91号) 2020年4月発行 品川区総務部人権啓発課男女共同参画担当
〒140-0011 品川区東大井5-18-1 品川区男女共同参画センター TEL.5479-4104 FAX.5479-4111 Eメール: danjo@city.shinagawa.tokyo.jp

●区内の各図書館、地域センター、文化センターなどで配布しています。